



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月3日

上場会社名 株式会社M A R U W A 上場取引所 東名
コード番号 5344 URL <https://www.maruwa-g.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神戸 俊郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山口 大介 TEL 0561-51-0841
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

百万円未満切捨

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	52,225	△1.7	17,124	△13.2	18,029	△10.0	12,332	△11.7
	53,141	18.0	19,734	37.1	20,034	33.9	13,965	31.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 14,197百万円 (△5.7%) 2025年3月期第3四半期 15,056百万円 (37.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	999.46	—
	1,131.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	152,670	140,835	92.2
	142,285	127,854	89.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 140,835百万円 2025年3月期 127,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	47.00	—	47.00	94.00
2026年3月期(予想)	—	51.00	—	51.00	102.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	12,372,000株	2025年3月期	12,372,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	33,334株	2025年3月期	32,112株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	12,339,082株	2025年3月期 3Q	12,338,844株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間は、各国の金融政策や、米国と各国間の関税の動向が意識されたほか、中東・ウクライナ情勢を始めとした地政学リスクが懸念される状況が継続しました。ハイテク市場においては、生成AI関連の幅広い分野での技術進化や投資の活発化が見られました。

そのような状況の中、当社グループでは、次世代高速通信関連は高水準で推移しているほか、上期に市況が弱含んでいた車載、半導体関連に回復が見られました。それらの結果、売上高は前年同期比1.7%減の52,225百万円、営業利益は前年同期比13.2%減の17,124百万円、経常利益は前年同期比10.0%減の18,029百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期の11.7%減の12,332百万円となりました。

第4四半期より次世代高速通信での大幅な増産により情報通信関連の成長が加速するほか、来期は車載、半導体関連で本格的な回復を見込んでおります。2028年度売上高1000億円の中期計画に向け、着実に体制強化に注力してまいります。

セグメント別の売上高と利益の状況は次のとおりです。

①セラミック部品事業

当事業は、次世代高速通信関連は高水準で推移しているほか、上期に市況が弱含んでいた車載、半導体関連に回復が見られました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比3.4%減の45,023百万円、セグメント利益は前年同期比15.5%減の16,906百万円となりました。

②照明機器事業

当事業は、高級新築マンション市場向けの照明が活況であったことに加え、公共のLED照明導入案件が堅調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比9.8%増の7,201百万円、セグメント利益は前年同期比61.9%増の1,418百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は100,691百万円となり、前連結会計年度末に比べ401百万円増加いたしました。これは主に売掛金が増加したことによるものです。固定資産は51,979百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,983百万円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が増加したことによるものです。

これらの結果、総資産は152,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,384百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は11,306百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,626百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が減少したことによるものです。固定負債は528百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が増加したことによるものです。

これらの結果、負債合計は11,835百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,596百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は140,835百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,981百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益12,332百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は92.2%（前連結会計年度末は89.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月5日に公表した2026年3月期の連結業績予想について、見通しに変更はありません。

現時点の当社の市場動向の認識及び社内の状況は下記の通りです。

情報通信関連事業は、第4四半期から次世代高速通信の次期モデルが本格的に立ち上がることによる大幅な増産を見込んでおり、成長が加速する見通しです。エンド需要が一層強くなっていることから、来期も一層期待が持てると考えています。

車載関連事業は、新エネルギー車関連での在庫調整が終了し、回復局面となっています。来期から再び成長局面となる見通しで、中長期的な成長のため、自動化や歩留まり向上によるさらなる収益体制の強化を図ってまいります。

半導体関連事業は、生成AI関連の需要が好調に推移しているほか、下期から高純度SiC差別化製品も拡大が見られています。汎用メモリ関連は本格的な回復には遅れがある一方で、着実な回復が見られており、来期の本格的な市況回復に向け、新工場での生産体制強化に注力してまいります。

産業機器関連事業は、パワーモジュール関連は市況によりスローダウンも、医療関連の新製品は需要が増加しております。

照明機器関連事業は、2027年蛍光灯製造禁止によるLED需要の増加や首都圏の高級新築マンション市場の拡大に伴い、ハイエンド照明が堅調に推移しています。

収益面については、工場の自動化に加え、新製品の歩留まりのさらなる改善により、収益力向上を図ってまいります。なお、経常利益以下の各利益につきましては、主に為替要因で変動することが想定され、現時点では見通しが困難なことから、具体的な金額の予想は開示しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,793	67,840
受取手形	139	70
売掛金	12,420	13,867
電子記録債権	1,319	1,467
商品及び製品	2,645	2,532
仕掛品	3,803	4,876
原材料及び貯蔵品	5,398	6,935
その他	2,832	3,109
貸倒引当金	△62	△8
流動資産合計	100,290	100,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,996	16,401
機械装置及び運搬具（純額）	13,039	14,297
土地	5,047	5,064
建設仮勘定	5,474	13,538
その他（純額）	798	852
有形固定資産合計	39,356	50,154
無形固定資産		
その他	444	441
無形固定資産合計	444	441
投資その他の資産	2,194	1,382
固定資産合計	41,995	51,979
資産合計	142,285	152,670

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,965	4,206
電子記録債務	840	984
未払法人税等	4,929	1,233
賞与引当金	1,191	589
役員賞与引当金	149	75
その他	3,856	4,215
流動負債合計	13,933	11,306
固定負債		
繰延税金負債	131	165
その他	366	362
固定負債合計	498	528
負債合計	14,431	11,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,646	8,646
資本剰余金	12,103	12,103
利益剰余金	105,705	116,828
自己株式	△198	△205
株主資本合計	126,257	137,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	35
為替換算調整勘定	1,556	3,426
その他の包括利益累計額合計	1,596	3,461
純資産合計	127,854	140,835
負債純資産合計	142,285	152,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	53,141	52,225
売上原価	24,237	25,252
売上総利益	28,903	26,973
販売費及び一般管理費	9,169	9,848
営業利益	19,734	17,124
営業外収益		
受取利息	187	395
受取賃貸料	93	95
為替差益	—	359
その他	90	149
営業外収益合計	371	1,000
営業外費用		
支払利息	0	—
為替差損	24	—
投資不動産賃貸費用	36	39
株式報酬費用消滅損	0	41
その他	8	14
営業外費用合計	71	95
経常利益	20,034	18,029
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	147
補助金収入	2,576	42
特別利益合計	2,576	191
特別損失		
固定資産除売却損	89	36
固定資産圧縮損	2,360	42
その他	—	14
特別損失合計	2,450	93
税金等調整前四半期純利益	20,160	18,126
法人税、住民税及び事業税	6,026	5,405
法人税等調整額	168	388
法人税等合計	6,194	5,794
四半期純利益	13,965	12,332
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,965	12,332

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	13,965	12,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89	△4
為替換算調整勘定	1,180	1,869
その他他の包括利益合計	1,091	1,865
四半期包括利益	15,056	14,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,056	14,197

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	3,372百万円	3,797百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	46,585	6,556	53,141	—	53,141
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	34	40	△40	—
計	46,591	6,590	53,182	△40	53,141
セグメント利益	19,996	876	20,872	△1,138	19,734

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,138百万円には、セグメント間取引消去38百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,176百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	45,023	7,201	52,225	—	52,225
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	2	9	△9	—
計	45,030	7,204	52,234	△9	52,225
セグメント利益	16,906	1,418	18,325	△1,200	17,124

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,200百万円には、セグメント間取引消去70百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,271百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。